

【外科】

腸閉塞（イレウス）について

国吉病院

医師 木下 貴史 さん

腸閉塞（イレウス）とは、食物や消化液などが排せつされずに腸管内にとどまってしまう（詰まった）状態です。症状は、激しい腹痛、嘔気・嘔吐、腹部膨満等が特徴で、時に重篤化し、生命に関わる場合もあります。原因として、腸管の運動まひ、炎症や中毒、精神神経系疾患、腸管のけいれん等による機能的要因と、がんや腫瘍に伴う物理的狭窄や閉塞、腹部の手術既往や外



傷による腸管癒着、腸軸捻転、異物誤飲や不消化性食物残渣等による機械的要因に大別されます。診断は、理学的所見および画像検査（単純エックス線、コンピュータ断層撮影検査等）が有用です。

治療法は、絶飲食による腸管の安静と点滴、経鼻チューブ（イレウス管）挿入による腸管内圧の減圧等の内科的加療となりますが、症状が改善しないまたは絞扼等により

腸管の血流障害や壊死、穿孔が疑われる場合は、外科的加療（手術）の適応となります。

当院では、内科的加療をはじめ、各種画像診断、外科的加療（低侵襲な腹腔鏡下手術等）にも対応しております。気になる方は一度ご相談ください。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科（ペインクリニック）他